

令和 4 年度予算額（案）

令和 4 年 1 月 2 4 日
経済産業省

令和4年度 経済産業省の量子技術施策

- **産総研運営費交付金 R4予算額(案) : 614.8億円の内数(R3予算額 : 619.8億円の内数)**
産総研が有する研究開発基盤を強化して形成した**量子デバイス開発拠点**を中核に、量子コンピューティング等の量子デバイスについて、企業、大学、研究機関と連携して研究開発を推進。
- **高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発**
R4予算額(案) : 100.5億円の内数(R3予算額 : 99.8億円の内数)
超伝導やシリコンなどの**量子デバイス製造技術**を活用した、企業、大学、研究機関と連携して量子アニーリングマシンならびにソフトウェア等の研究開発を実施。
- **新産業創出に向けた先導研究 R4予算額(案) : 13.9億円の内数(量子技術分野の課題を新規設定)**
量子コンピューティング技術の社会実装を促進する基盤技術の先導的研究開発を実施。

額は令和4年度経済産業省予算案関連事業のPR資料一覧より抜粋

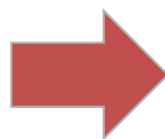
○産総研における研究開発の内容

- ・量子アニーリングマシン : 超伝導量子アニーリングマシンの理論・設計・製造・評価・アプリケーション技術の開発(NEDO事業等)
- ・超伝導ゲート方式量子コンピュータ : 大規模集積化に向けた製造・評価技術及びクライオCMOS制御回路技術の開発(ムーンショット等)
- ・シリコンゲート方式量子コンピュータ : シリコン量子ビット及び量子集積回路の開発(Q-LEAP等)
- ・量子計測 : 量子電流、量子電圧、量子抵抗の量子素子の開発
- ・量子センシング : 電圧、電流、磁場等の超高精度計測を可能とするダイヤモンド量子デバイス等の製造(Q-LEAP等)

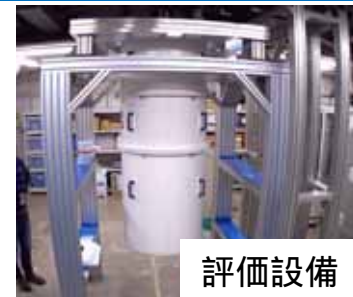
産総研 量子デバイス開発拠点

日本唯一の超伝導集積回路専用クリーンルーム

CRAVITY
AIIST
令和3年度まで



Qufab
令和4年度始動
(令和2年度補正)



評価設備

